

## 中西仁三教授 略歴および著作目録

### 略 歴

明治二十七年一月十九日 大阪市南区東平野町二ノ三ニ生れる

大正七年六月 同志社大学経済科卒業

大正十年三月 京都帝国大学経済学部卒業

大正十年四月 株式会社日本興業銀行ニ就職

大正十一年四月 京都帝国大学経済学部大学院ニ入学、財政金融論ヲ専攻ス

大正十二年四月 京都帝国大学経済学部講師トナリ英独經濟書講読ヲ担当シ併セテ関西大学経済学部ニテ貨幣論、銀行論ヲ講義ス

昭和二年三月 財団法人協調会參事ニ就職、同会大阪支所ニテ海外労働問題ノ調査ニ従事シ同会大阪労働学院ヲ主宰ス

昭和九年四月 滿洲哈爾濱日本商工会議所理事トナル

昭和十三年四月 滿洲哈爾濱商工会專務理事トナル

昭和十四年六月 滿洲国立新京法政大学教授トナリ經濟学部長ヲ兼任ス

昭和二十一年八月 滿洲ヨリ帰還

昭和二十一年十月 同志社大学經濟学部教授ニ就任

昭和二十四年十月 金本位制度批判論ヲ提出、經濟学博士ノ学位ヲ受ク

昭和二十六年四月 ヨリ二十八年三月マデ經濟学部長ヲ勤ム

昭和二十九年一月 同志社大学ヲ停年退職ス

### 在滿中ノ業績

商工会議所ノ月刊誌北滿經濟月報ニ毎号卷頭論文ヲ執筆シテ約五十編ニ達シ此等ヨリ選択シテ後ニ滿洲經濟線記トシテ公刊  
昭和十五年奉天商工会雑誌ニ經濟道義化論ヲ登載シ之レニ基キ全滿洲商工会ノ招聘ヲ受ケ柳井、大連、安東、通化、營口、遼陽、

中西仁三教授 略歴および著作目録

中西仁三教授 略歴および著作目録

(五四八) 二八四

鞍山、平壤、齊々哈爾等ノ各地ニテ戦争經濟論ヲ講演ス

滿洲日報、哈爾濱日々新聞、滿洲經濟雜誌、滿洲公論等ニ論文ヲ十數編發表ス

著書

滿洲時代の著書

經濟學講義案

新金融論大綱

滿洲經濟論

經濟學汎論 上下

金本位制度批判論

金融匯管論

滿洲貨幣金融機構論

滿洲經濟統制論

滿洲經濟襍記

同志社大学在職時代

經濟學概論

財政學

金融の基本問題

貨幣の基本理論

經濟學汎論 上下

財政學

貨幣理論と貨幣制度

財政貨幣論集

財政政策論

新版財政學

滿洲行政學會

〃

滿洲有斐閣

〃

〃

〃

滿洲修文館

東京国立書院

三和書房

〃

同志社大学出版部

有斐閣

〃

〃

〃

〃

〃

## 同志社大学経済学論叢掲載

### 論 文

貨幣現象における事実と理論

租税本質に關する一つの試論

——租税と國民經濟との關係について——

國際貨幣制度の將來について

——國際通貨基金制度批判を中心として——

租税種類の選択

——租税の体系——

金本位制度批判の論拠

貨幣的秩序 貨幣制度と貨幣本質との相互關係

貨幣廢止論に対する考察

財政及び貨幣政策の關係について

租税の分類について

緊縮均衡財政予算の背後のもの

——財政と經濟との關係について——

新旧財政学比較論

經濟における所謂流動性について

一八四四年の英蘭銀行條例について

財政政策序論

一般經濟政策と財政政策との限界

### 資 料

旧滿洲國の貨幣金融機構確立の経緯

租税の転嫁、租税の影響について

中西仁三教授 略歴および著作目録

財政経済の原則又は予算政策について  
課税の限界について

財政学における古き問題と新しき問題

近代貨幣政策における未解決問題について

戦後十ヶ年における我国財政の変化

日本経済の戦後の復興について

日本銀行法の改正に対して

トマス・トウクの『通貨主義原則に対する批判』について

貨幣の流動性理論について

外国より見たる日本の経済及び社会

人民公社と中国の農業政策

アレン教授の近代日本経済略史について

### 紹介

ウィルヘルムゲルロフ貨幣財政理論記念論文集

Handbuch der Finanzwissenschaft

Readings in Monetary theory, selected by F. A. Lutz, L. W. Mints

Papers in English Monetary History, ed. by T. S. Ashton & R. S. Sayers

以上の外に京都大学経済論叢に名目派の貨幣理論、貨幣廃止論、岩波書店の経済研究に英蘭銀行条例、ソビエットに於ける貨幣制度の変化、貨幣の宗教的起原、協定会発行の社会政策時報にも数編の論文を発表し、大阪市立大学の経済学辞典に各国の社会労働運動として英、米、独、露、仏、伊の各国に就き記述したるものあり。